

第125期 中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

DiD



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

第125期第2四半期累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の営業が終了いたしましたので、報告書をお届けし、ご報告申し上げます。

平成29年12月

代表取締役社長 新家 康三

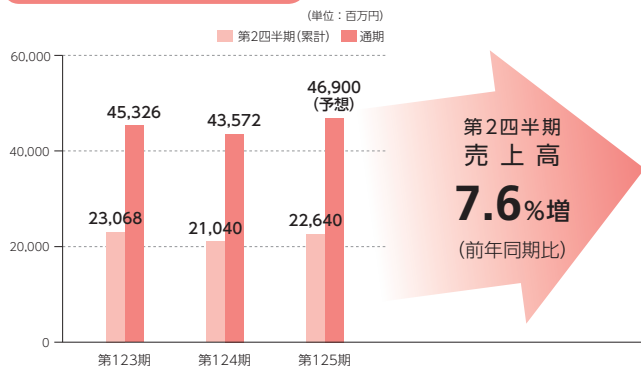
事業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国政権の政策運営や東アジア情勢など不透明な状況が続いたものの、欧米先進国を始めとした足元の世界経済は総じて回復基調で推移しました。国内においても、好調な企業業績に支えら

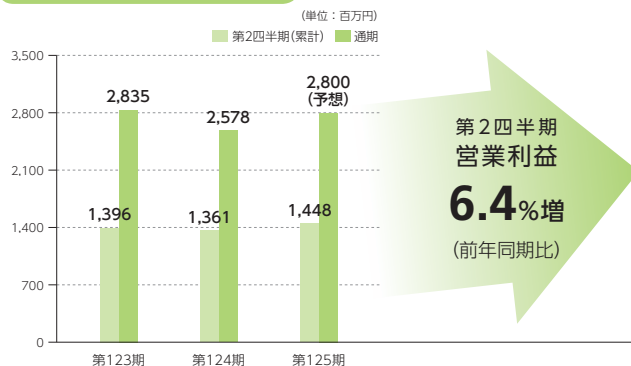
れ、雇用環境の改善や消費の持ち直しなどの好材料を背景に、今後も緩やかな回復が続く見通しです。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は226億40百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は14億48百万円（前年同期比6.4%

売上高



営業利益



増)、経常利益は16億71百万円（前年同期比19.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億77百万円（前年同期比41.4%増）となりました。

なお、中間配当につきましては、期初の計画通り実施を見送らせていただきたいと存じますので、何卒ご了承承賜りますようお願い申し上げます。

■ 対処すべき課題

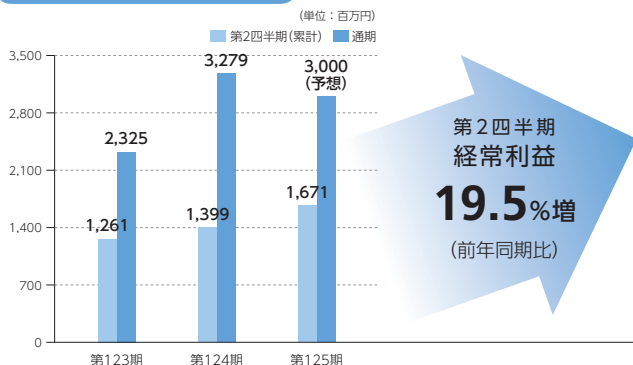
今後の見通しにつきましては、米国経済の底固い成長や、欧州における内需主導の景気拡大を背景に全体として堅調な成長が見込まれますが、中国経済の減速や東アジア情勢の不透明感など、引き続き予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況の中、当社グループは『たゆまぬ挑戦

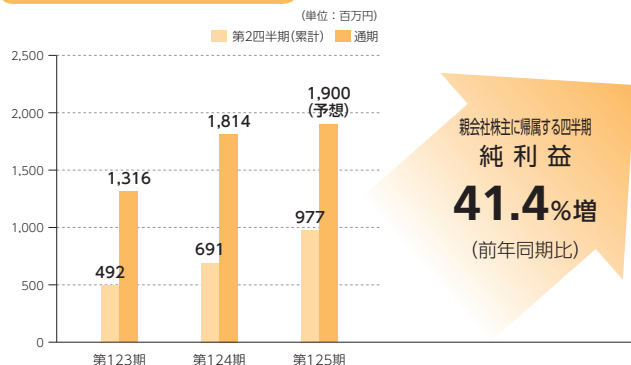
で未来を切り拓く』をスローガンとする第10次中期経営計画（2015～2017年）の最終年度を迎えております。いま一度ものづくり企業としての原点に立ち返り、既存の技術や製品にとらわれず自由な発想で事業領域・技術領域を拡大し、戦略的に成長市場・成長分野を取り込んでまいります。また、多様な人材が活躍できるよう、働きやすい職場環境の整備と人材育成に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

経常利益



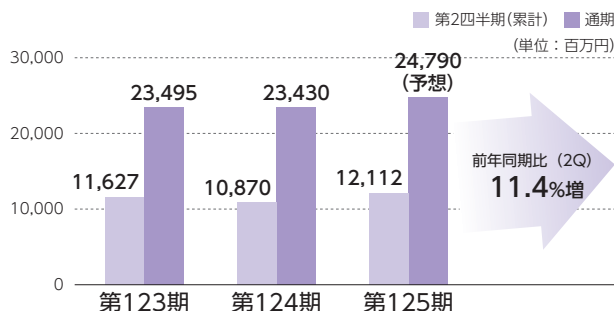
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



所在地別セグメント（当社及び連結子会社の属する国または地域を基準としたもの）

● 日 本

国内は、前年同期において熊本地震やアセアン諸国での干ばつの影響などにより、完成車メーカー向け二輪車用チェーン、アルミリム、農業機械用ホイールの受注が低調であったものの、前期の後半より受注が回復基調となるとともに、二輪車用アルミリムにおいては新機種の獲得により、二輪車用チェーンにおいては欧州補修市場向けの受注が好調であったことから、売上高は前年同期比11.4%増加の121億12百万円となりました。

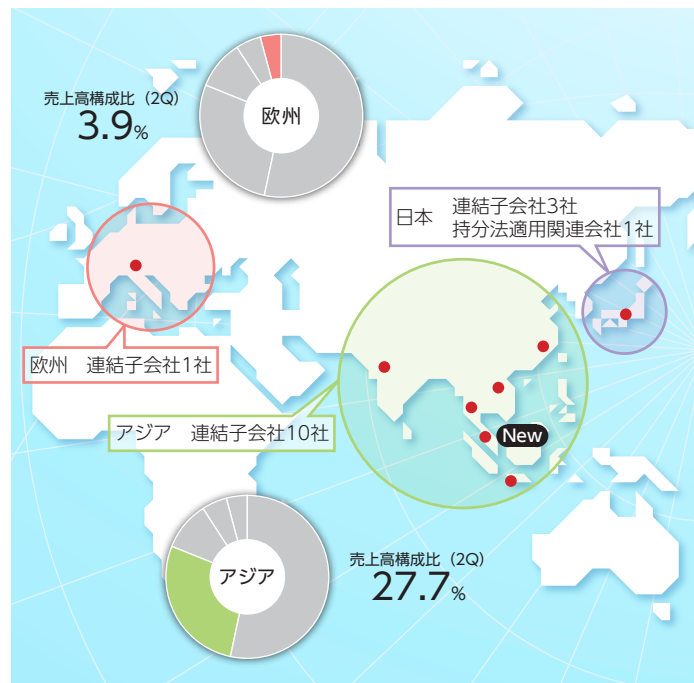


● ご参考 ●

仕向地別セグメント

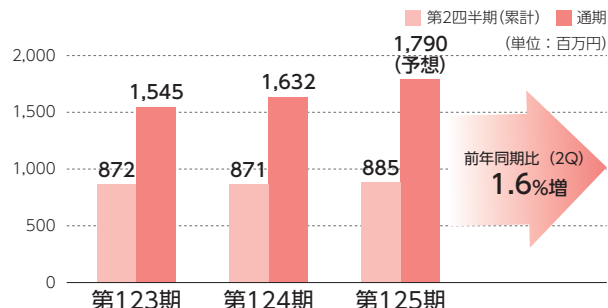
（顧客の属する国または地域を基準としたもの）

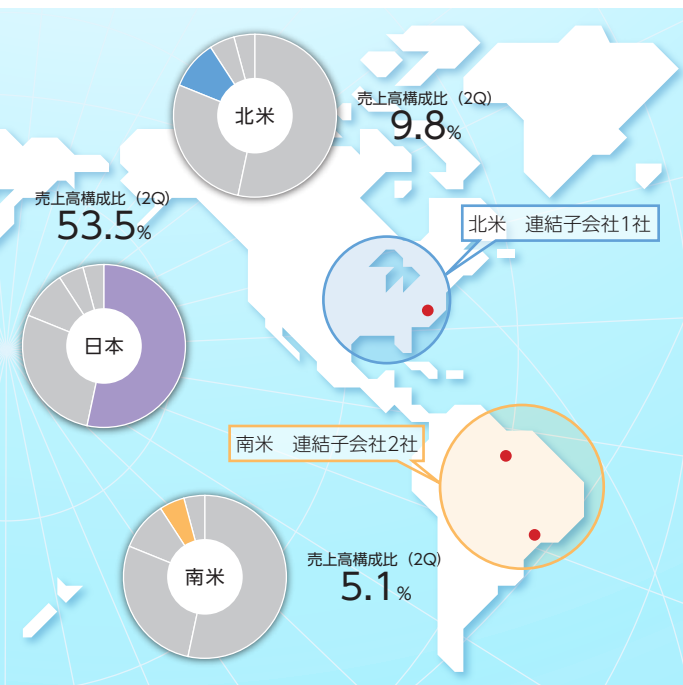
	売上高 (百万円)	構成比	前年同期比
日 本	10,853	47.9%	12.5%増
ア ジ ア	6,831	30.2%	9.3%増
北 米	2,211	9.8%	13.8%減
南 米	1,298	5.7%	11.5%増
欧 州	1,300	5.8%	5.9%増
そ の 他	145	0.6%	22.2%減



● 欧 州

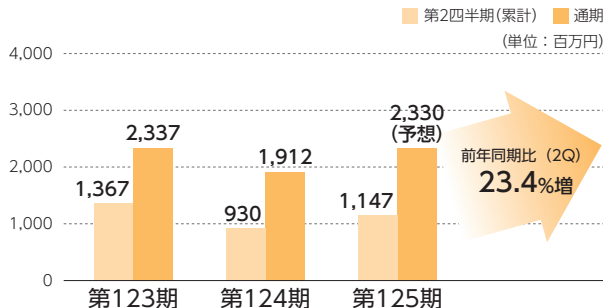
二輪車用チェーンにおいて、販売店の新規開拓等により補修市場向けの受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期比1.6%増加の8億85百万円となりました。





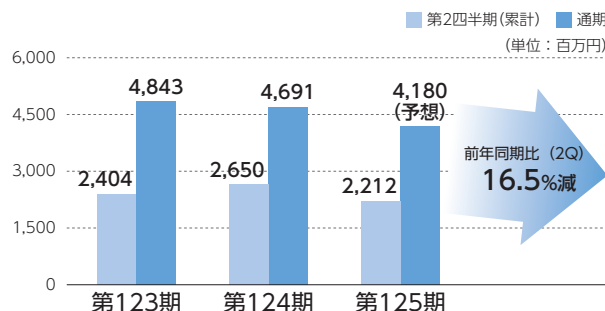
● 南 米

産業用・農業用チェーンの受注が新規案件獲得に向けた施策の展開により好調に推移するとともに、二輪車用チェーンにおいて完成車メーカー向けの受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期比23.4%増加の11億47百万円となりました。



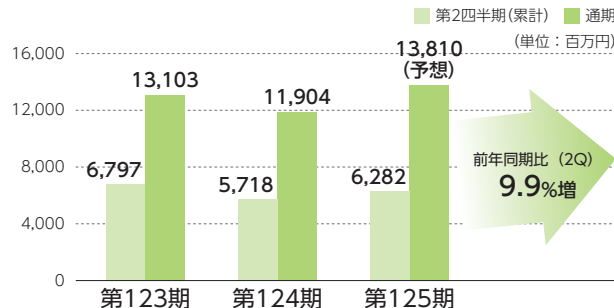
● 北 米

四輪車用チェーンにおいて、前年同期は新規の立ち上げの影響で受注が伸びていたこともあり、売上高は前年同期比16.5%減少の22億12百万円となりました。



● アジア

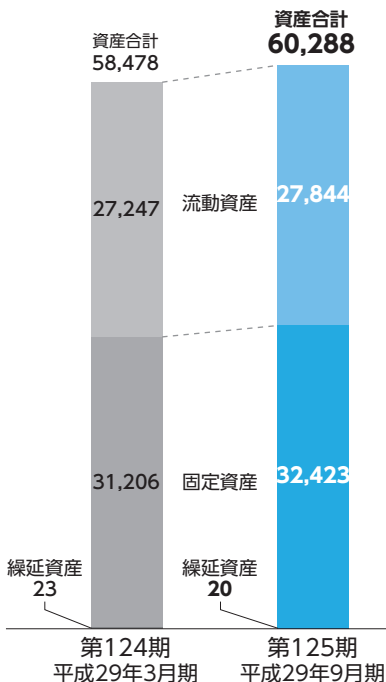
タイの搬送関連設備の受注が低調であったものの、アセアン諸国において二輪車用チェーンの受注が完成車メーカー向け及び補修市場向けともに好調に推移し、中国においても日系自動車メーカーの増産を背景に四輪車用チェーンの受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期比9.9%増加の62億82百万円となりました。



財務の状況（連結）

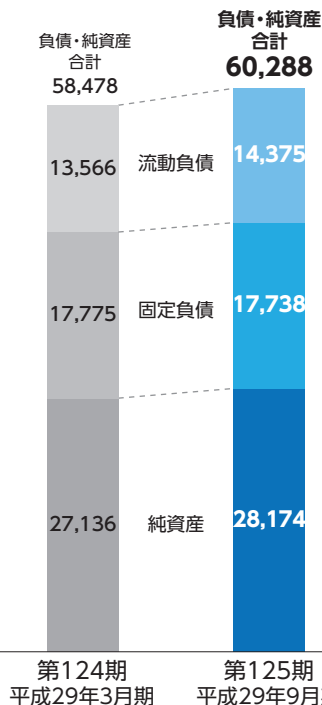
資産の部

単位：百万円



負債及び純資産の部

単位：百万円

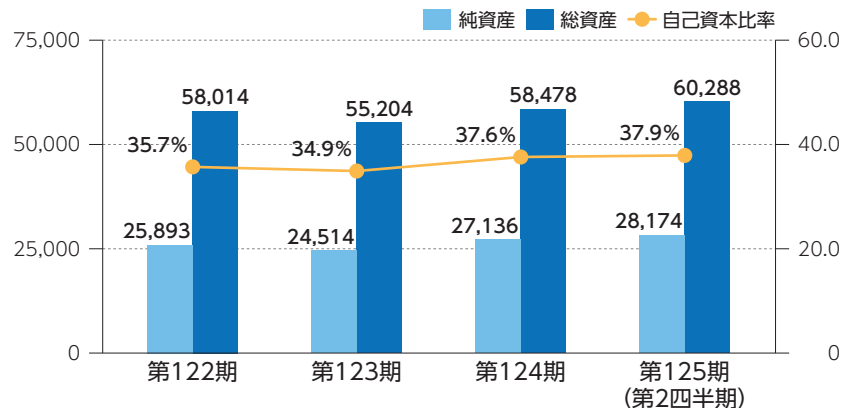


ポイント解説

総資産は、受取手形及び売掛金、仕掛品、原材料及び貯蔵品、機械装置及び運搬具、建設仮勘定、投資有価証券が増加したことなどにより、前期末と比べ18億10百万円増加しました。負債は、借入金が減少したものの、支払手形及び買掛金、未払法人税等、繰延税金負債が増加したことなどにより、前期末と比べ7億72百万円増加しました。純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金、非支配株主持分が増加したことなどにより、前期末と比べ10億38百万円増加しました。

純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円

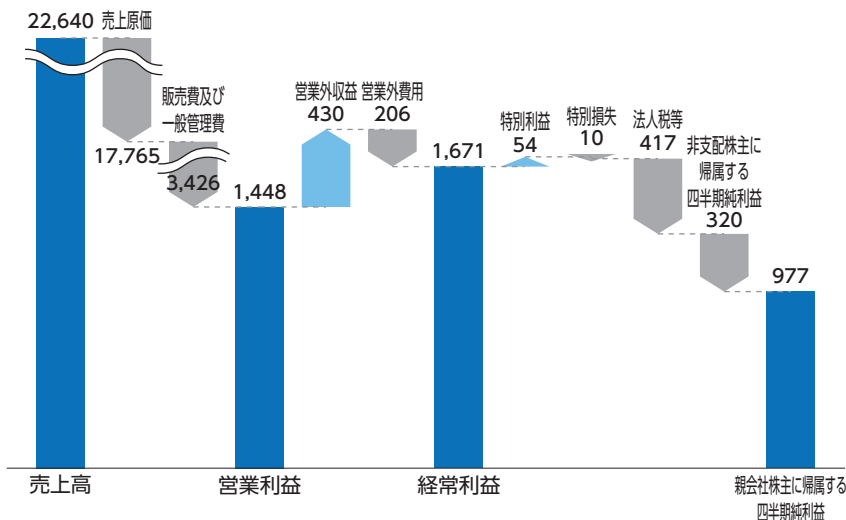


ポイント解説

自己資本比率は、総資産が増加したものの、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が大きく増加したことなどにより、前期末と比べ0.3ポイント増加の37.9%となりました。

● 損益の状況 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

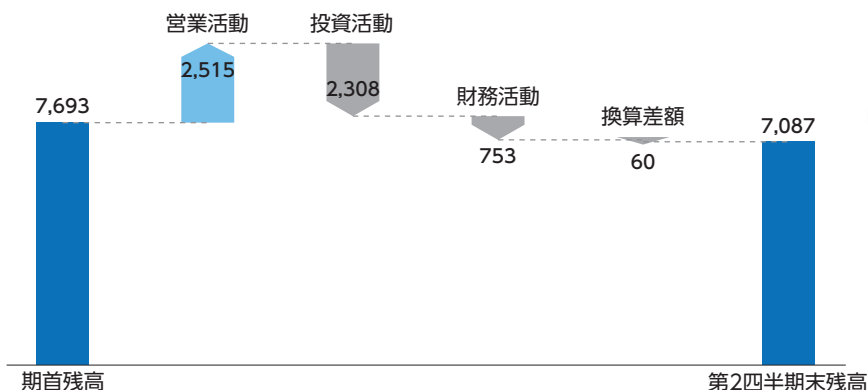
前年同期において熊本地震やアセアン諸国での干ばつの影響などにより低調であった二輪車用チェーン、アルミリム、農業機械用ホイールの受注が前期の後半より回復基調となったことに加えて、二輪車用アルミリムの受注が新機種を獲得により受注が好調に推移するとともに、二輪車用チェーンの受注がアセアン諸国や欧州において、四輪車用チェーンの受注が中国において好調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。利益面では、売上高の増加や為替差損の減少等により、過去最高の営業利益、経常利益、四半期純利益を計上いたしました。

(単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
第125期	平成29年9月期	22,640	1,448	1,671	977
第124期	平成28年9月期	21,040	1,361	1,399	691

● キャッシュ・フローの状況 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産が増加したものの、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上、仕入債務の増加等により、25億15百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、定期預金の預入による支出等により23億8百万円の使用、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入の返済による支出、配当金の支払、非支配株主への配当金の支払等により7億53百万円の使用となりました。

会社の概況

商 号：大同工業株式会社

設立年月日：昭和8年5月25日

資 本 金：27億2,637万円

従 業 員：652名（個別） 2,162名（連結）

(注) 上記従業員数は就業人員であり、臨時雇用者（定年後再雇用社員、派遣社員等）は含んでおりません。

事業所

本社・本社工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地

福 田 工 場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20

動 橋 工 場：石川県加賀市動橋町中22-1

東 京 支 社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4（ユニゾ人形町三丁目ビル）

大 阪 営 業 所：大阪市中央区南船場2-12-12（新家ビル）

栃 木 営 業 所：宇都宮市東宿郷4-2-20（KDビルディング）

名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南4-9-7

浜 松 営 業 所：浜松市北区三方原町1130-2

熊 本 営 業 所：熊本県菊池市旭志川辺1074-1

グローバルネットワーク

国内ネットワーク

- 株式会社D.I.D
- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ガイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行

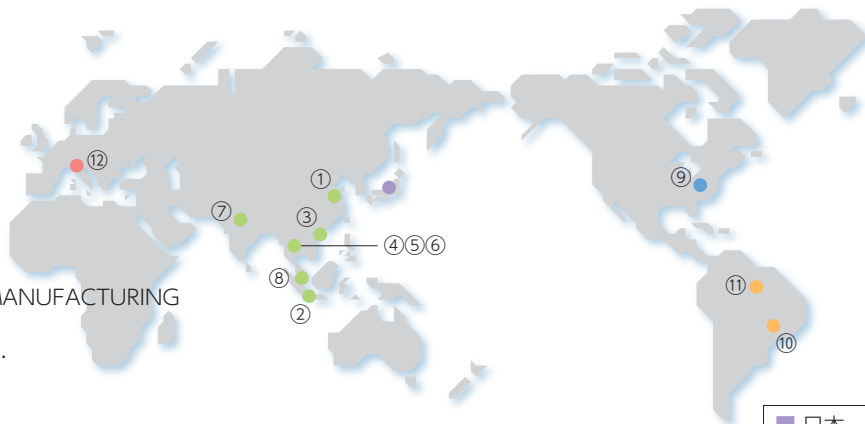
海外ネットワーク

- 中国 ① 大同鏈条（常熟）有限公司
- インドネシア ② P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
- ベトナム ③ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
- タイ ④ DAIDO SITTIPOLO CO., LTD.
- タイ ⑤ D.I.D ASIA CO., LTD.
- タイ ⑥ INTERFACE グループ（3社）
- インド ⑦ DAIDO INDIA PVT. LTD.
- マレーシア ⑧ DID MALAYSIA SDN. BHD. **New** 2017年5月設立
- アメリカ ⑨ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
- ブラジル ⑩ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
- ブラジル ⑪ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
- イタリア ⑫ DID EUROPE S.R.L.

会社役員状況

会社における地位	氏 名
代表取締役社長	新 家 康 三
代表取締役副社長	新 家 啓 史
専 務 取 締 役	立 田 康 行
常 務 取 締 役	菊 知 克 幸
常 務 取 締 役	清 水 俊 弘
取 締 役	澤 保
取 締 役	棚 橋 健 一
常 勤 監 査 役	福 田 治
監 査 役	笠 松 靖 男
監 査 役	東 森 正 則
監 査 役	廣 田 信 也

- (注) 1. 取締役澤保氏、棚橋健一氏は社外取締役であります。
2. 監査役笠松靖男氏、東森正則氏、廣田信也氏は社外監査役であります。
3. 当社は、澤保氏、棚橋健一氏、廣田信也氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。



- 日本
- アジア
- 北米
- 南米
- 欧州

株式の状況

発行可能株式総数：160,000,000株

発行済株式総数：47,171,006株（自己株式55,682株含む）

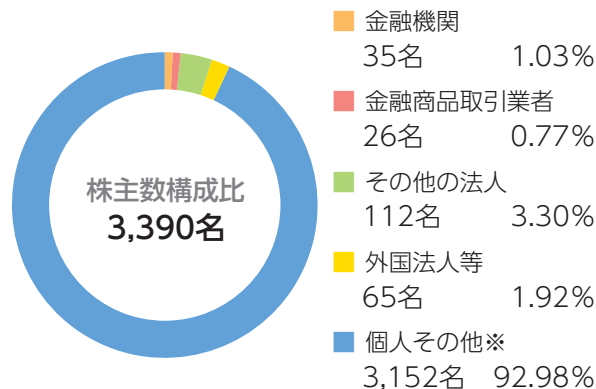
株主数：3,390名

大株主（上位10名）

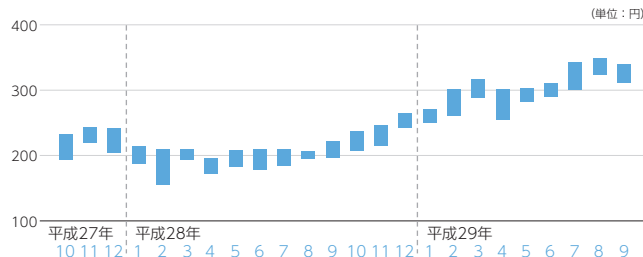
株主氏名及び名称	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	2,466千株	5.23%
株式会社 飯 田	2,378	5.05
株式会社 北 國 銀 行	2,281	4.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,483	3.15
日本生命保険相互会社	1,376	2.92
加賀商工有限会社	1,313	2.79
大同生命保険株式会社	1,298	2.75
株式会社 み ず ほ 銀 行	1,291	2.74
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,291	2.74
新家 萬 里 子	1,287	2.73

（注）持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

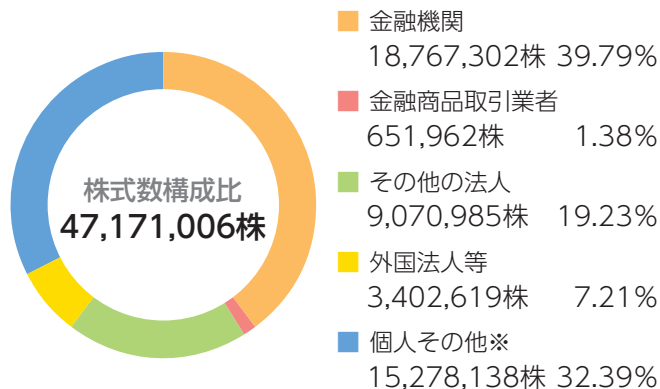
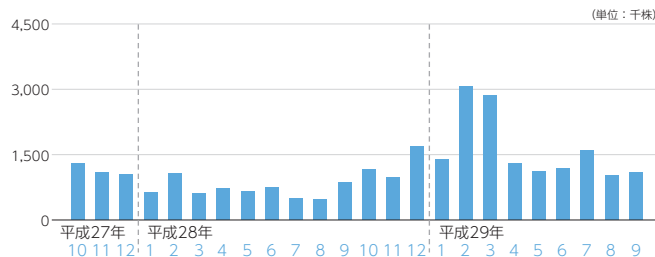
株式分布状況



株価（高値・安値）の推移



出来高の推移



※ 個人その他には、政府・地方公共団体及び自己名義株式を含む。

■ 株式会社スギムラ精工との業務及び資本提携スタート

2017年7月より、当社は生産技術力強化施策の一環として、塑性加工理論に基づいた高度な金属プレス加工技術を保有する自動車部品メーカーの株式会社スギムラ精工（本社 長野県 以下、「スギムラ精工」）との間で、業務及び資本提携をスタートしました。

スギムラ精工は、独自の部品加工技術を活かしたものづくりにより、高い生産性を発揮し、多くの国内自動車メーカーへの納入実績があります。同社と当社の事業の親和性は高く、業務及び資本提携を行うことで、「既存ビジネスの技術競争力の強化」「事業領域・技術領域の拡大」「次世代を担う人材の育成」等、中長期的に多くのシナジー効果が期待できると考えております。

今後は、スギムラ精工の保有する高度な部品加工技術を活用した当社製品の競争力強化に努めるとともに、これまで当社が手掛けてこなかった新たな自動車精密部品の成型事業に注力してまいります。



▲スギムラ精工 本社外観



▲スギムラ精工 つるみね工場内の様子



▲加工事例

■ スギムラ精工の会社概要

名	称	株式会社スギムラ精工
所	在	地
		本 社 工 場：長野県岡谷市長地御所2丁目13番32号 つるみね工場：長野県岡谷市川岸上3丁目1番1号
代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 杉村博幸	
事 業 内 容	金属プレス加工及び金属プレス用金型の設計製作	
取 扱 製 品	自動車部品、家電・AV機器、建材関連部品など	
設 立 年 月	昭和55年10月	
従 業 員 数	50名（平成29年10月現在）	

■ DIDスポンサーチームが鈴鹿8耐3連覇

2017年7月27日～30日に開催された二輪業界の一大イベントである真夏の祭典2017 FIM世界耐久選手権シリーズ最終戦「鈴鹿8時間耐久ロードレース」（鈴鹿8耐）の決勝において、DIDスポンサーチームであるYAMAHA FACTORY RACING TEAMが、8時間で216周を走破し、ヤマハ初となる3連覇を達成し、鈴鹿8耐の記念すべき40回記念大会で輝かしい偉業を成し遂げました。

同チームのマシンには、当社製品であるレース専用DIDドライブチェーンが装着されており、世界一過酷と評される真夏の8時間スプリント耐久レースにおいて、マシンのポテンシャルを最大限に引き出し優勝に貢献することができました。DIDチェーンの性能・品質の高さを実証すると同時に、同チームのマシンの両サイドに付された「D.I.D」のロゴマークを通じて、当社の存在感を示すことができました。

今後とも、世界の名だたるレースにおけるサポートを通じて、「D.I.D」ブランドの更なる確立と普及に努めるとともに、グループ全体の企業価値の向上に資する取り組みを推進してまいります。



▲鈴鹿8耐を疾走する様子

■ 個人投資家向け会社説明会の開催

2017年9月に個人投資家の皆様を対象とした当社会社説明会を金沢市内にて開催いたしました。

地元証券会社とタイアップし開催した計3回の説明会には、石川県内の方々を中心に、合計約150名にご参加いただき、当社の経営陣より事業概要や業績、業界動向、新製品紹介、投資情報等について説明し、投資家の皆様に当社への理解を深めていただきました。

説明の後に設けられた質疑応答の時間では、非常に活発な意見交換がなされ、当社に対する様々なご意見やご要望を頂戴することができました。

会社説明会の後のアンケートの回答では“どのような会社かよく知らなかったが、今回の説明を聞いて投資対象として興味が湧いた”というご意見も多数いただきました。

いただいたご意見やご要望にお応えできるよう、今後も投資家の皆様との対話の機会を設けて、積極的なIR活動を推進してまいります。



▲個人投資家向け説明会（金沢市）の様子

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
単元未満株式の 買取制度	1単元 (100株) 単元未満株式 (1から99株)
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (インターネットHP URL)	☎ 0120-782-031 http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) http://www.did-daido.co.jp/jp/index.html
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	6373

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6373

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する
「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なし
にこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
[e-株主リサーチ事務局]

TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com



ミックス
責任ある水質資源を
使用した紙
FSC® C013080

